



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

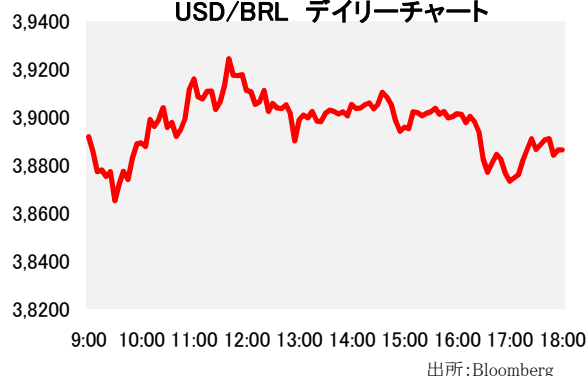
			10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,8930	3,8120	3,7990	3,9230	3,8860	-0,0370
	BRL/JPY	Spot	30,76	31,17	31,29	30,44	30,75	+0,31
	EUR/USD	Spot	1,1381	1,1473	1,1387	1,1348	1,1326	-0,0022
	USD/JPY	Spot	119,74	118,84	118,89	119,44	119,52	+0,08
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,996	14,934	14,810	14,867	14,767	-0,099
	Future	1Year(p.a.)	15,685	15,531	15,320	15,454	15,322	-0,132
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	3,305	3,202	2,868	2,613	2,835	+0,222
		1Year(p.a.)	4,613	4,348	3,887	3,665	3,834	+0,169
株式	Bovespa指数		47.363	46.710	47.161	47.236	47.447	211
CDS	CDS Brazil 5y		445,00	447,82	431,19	436,57	455,09	+18,52
商品	CRB指数		199,460	199,829	198,639	199,447	196,729	-2,72

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
CNI産業信頼感	--	35.0	35.7
貿易収支(週次)	--	-\$250m	\$1028m
登録雇用創出合計	-60250	--	-86543
税収	94000m	--	93738m
(米)NAHB住宅市場指数	62	64	61

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

ルセフ伯大統領	レヴィ財務相の財政調整に同意しているからこそレヴィ氏は辞任しない。
---------	-----------------------------------

4. トピックス

- 本日のレアルは3.8740で寄り付いた。
- 本日は中国の7-9月期のGDPが発表され、エコノミスト予想である前年同期比6.8%増を上回る6.9%増となり、リスク資産の買いが見られた。レアルはリスク資産買いの動きにつられて上窓を大きく開けて寄り付いたほか、レヴィ伯財務相の辞任の噂が弱まった結果、レアルは直ぐさま本日の高値となる3.8640を付けた。
- レアルはその後一時的に本日の安値となる3.9240を付けたが、引けにかけて再びレアル買い圧力が強まり、結局3.8860でクローズした。
- 尚、早朝に発表された中銀によるアナリスト予想集計では、2015年の経済成長率予想が-2.97%から-3.00%に下方修正されたほか、インフレ率予想は9.70%から9.75%に上方修正された。
- 中国のGDP成長率が予想を上回った結果、新興市場株は上昇した。MSCI新興市場指数は前週末比0.3%高となり、これで3営業日続伸。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。